

会議録

会議名	第1回南砺市上下水道料金検討委員会	
開催日時	令和6年8月29日（木） 13：30～15：15	
開催場所	南砺市役所302会議室	
出席者	委 員 出席12名 神山智美、戸成博宣、南田実、高田実、竹中雅司、山田智恵子 長田政哉、中川敬子、安居利浩、加藤耕一、中川一郎、杉本澄子 欠席なし 事務局 7名 齊藤副市長、野村ふるさと整備部長、池田上下水道課長、野村水道工務係長、 竹原下水道業務係長、辻下水道工務係長、間野水道業務係長	
傍聴者	なし	
会 議		
1 開会	上下水道課長	
2 委嘱状交付	あらかじめ席に配付してある委嘱状をもって交付とする	
3 市長あいさつ	市長代理：副市長 本日は第1回南砺市上下水道料金検討委員会ということで委員の皆様には委員をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございました。 さて、本市の水道事業は低廉で、安全安心な水の安定供給を目的に、水道施設の耐震化や、老朽化した施設の更新などに取り組んで参りました。しかし、人口減少が続く中、水の需要も減少しており、それに伴いまして、料金収入も減少し続けております。その一方で、費用面におきましては、水道施設の老朽化対策や自然災害への対策、そして、とりわけ、本年の地震が起きたように、耐震化についてもまだまだ不十分でございます。今後、さらに厳しい経営状況になることが見込まれております。 また、下水道事業におきましては、生活環境の向上や、水質保全などを目的に事業に取り組んで参りました。その結果、下水道施設整備事業の財源として借入れをしております企業債残高は、年々償還を行い減少している傾向にあるものの、毎年の償還金額は、非常に多額で、事業経営に大きな影響を与えております。施設の中に耐用年数に達するものが徐々に出てきておりまして、こういった施設につきましては、また更新しなければならない、あるいは今後さらに修繕、そして維持していく費用が例年増加しておるといような状況でございます。事業経営は一層厳しさを増し、事業継続が困難になる事態も想定されているような状況でございます。 本市では、これまでも職員の削減、そして民間活用、下水道の処理区域の統	

	合など、経営改善に努めて参りましたが、健全経営を継続するには、厳しい状況となっております。 水道、下水道いずれの事業も、市民生活に必要不可欠なライフラインであり、今後も事業の健全経営を継続していく必要がありますので、本検討委員会におきまして、今後の本市の水道料金、そして下水道使用料のあり方について、ご意見を賜りたく、何卒よろしくお願いいたします。 後程資料をお示しし、南砺市の水道事業、下水道事業の現状等も踏まえて、皆様方から適切なご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。
4 委員自己紹介 事務局紹介	委員名簿に基づき自己紹介 事務局職員自己紹介、中央設計技術研究所の紹介（支援業務）
5 委員長・副委員長の選出	【事務局】 委員長は、南砺市上下水道料金検討委員会設置要綱第5条に基づき、委員の互選によることを説明 【委員】 事務局に一任 【事務局】 委員長に神山委員を提案 【委員】 承認 【事務局】 副委員長は要綱に基づき、委員長の指名によることを説明 【委員長】 副委員長に戸成委員を指名 【委員】 承認 [委員長就任挨拶・副委員長就任挨拶] 【委員長】 本日、このような委員会で委員長の職を賜りまして、大変恐縮でございますが、誠実に務めさせていただきたく存じます。私は環境法・行政法を研究しておりまして、特に基礎インフラ、エネルギーや通信など、通信も命をつなぐ通信があります。救急車一つ呼べないということであれば大変なことであり、上下水道も同様と考えております。これまで基礎インフラを研究させていただいている知見を活かしつつ、皆様のご意見というのが大変貴重になりますし、また公募委員の方々がおっしゃっていただいたのですが、一般の方の目線というものも大変重要になるかと存じます。 少し余談になりますが、私はエネルギー関連、経産省系の委員をさせていただいております。例えばカーボンニュートラルとかオンサイトPPAアプリケーションについてお話しすると、皆さん何それという反応を示されます。そして、受け入れがたいとか、また新しいものが入ってくことで、生活が変わってしまうのではないかという思いを抱かれます。先ほど副市長の齊藤様がおつ

(進行：委員長) 6 検討委員会の進め方	しゃっていただいたように、上下水道事業について生活環境や水質に気をつけながら営んできたということでしたが、これからも安全安心な生活環境が、大変重要であろうというふうに考えております。またこれを維持していけるよう、メンテナンスも含めて、検討して参りたいと思います。皆様のご協力を賜りながら、務めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 【副委員長】 この会は、上下水道事業の安定的かつ持続的な運営を図るために設置されたと聞いております。皆さんとともに良い時間を共有できたら嬉しいなと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。 【事務局】 [検討委員会の役割、今後のスケジュール等について説明] 【委員長】 今ほどの事務局の説明について、ご質問はございませんか。 【委員】 いろいろとシミュレーションされると思うが、先ほど紹介があった中央設計さんがサポートされるということでしょうか。 【事務局】 そうです。事務局からいろいろな条件を提示し、複数のシミュレーションに基づく資料を作成していただいて、皆様に比較検討いただけるようにしたいと考えています。
7 南砺市上下水道事業の現状 (1) 南砺市水道事業の現状	【委員長】 続きまして、次第の7番目、南砺市上下水道事業の現状へ入ります。今日は第1回の委員会ということで、南砺市水道事業及び下水道事業がどのような現状であるかについてご理解いただくことが重要であると存じます。まずは、事務局より概要について説明をいただきたいと思います。 【事務局】 [資料に沿って水道事業の現状について説明] 【委員長】 上水道についてご説明いただきましたが、ご質問のある方は挙手いただけますでしょうか。 【委員】 説明の中に、南砺市と比較されている類似団体というのは、どこを指しておられるのでしょうか。 【事務局】 類似団体につきましては、給水人口が似たようなところをピックアップされています。ただ数が非常に多いということで、類似団体の平均値を記載しています。 【委員】 どこかの県のどこかの市、そういう考えでよろしいでしょうか。 【事務局】 南砺市と同じような経営規模の全国の団体となります。 【委員】 有効率が平成26年から、令和5年にかけて下がっています。これは漏水が増えているということを示すのでしょうか。 【事務局】 はい。有効率に関しましては先ほどご説明いたしました通り、管路の洗管や消防用水に使ったもののプラス、水道料金として回収

(2) 南砺市下水	され収入となった水量ということになっております。有収率に関しましては、下の青いグラフにございます通り、80%前後で推移しているということでございます。有効率におきまして85%だったものが有収率では81.3%ということで、こちらに関しては、洗管や水質の保全のための排水をして捨て水をしたということで、有効率と有収率に関して差が出てきたということでもあります。 【委員】 有収率のこの青いグラフに関して、ほぼ80%前後ということで推移しております。有収率の、この80、81%台、この辺りについてはどのような認識を持っていच्छいますか。 【事務局】 81.3%ということで、全国平均は約85%あります。確かに81.3%では目標の全国平均には届いてないということで認識しております。 【委員】 6ページの水道施設の更新需要の見通しというところですけどもこれから先、人口が減って、それから水需要も減っていくというふうにおっしゃったと思います。そうしますと、それだけの大きさ、これまで計画していた大きさの管が必要ないということもいえるかと思いますが、そういう面の配慮っていうのは、どれだけ更新需要の見通しに見込んでありますか。 【事務局】 この更新需要につきましては、今ある管路と同等の大きさでの概算金額ということで計上しております。 【委員】 ということは、今後検討の可能性があるとということで理解してよろしいわけですね。 【事務局】 はい。 【委員長】 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。 【委員】 7ページ目の料金ですが、全国平均の方が高いですが、富山県内の自治体と比べて安いとは言えないのではないですかね。例えば最低賃金とか含めて、どういう支払い能力があるかも関係もあるとは思いますが、いかがでしょうか。 【事務局】 そうですね。これはあくまで料金を比較していて、地域ごとの最低賃金とか収入といったような要件については特に考慮しているわけではなくて、単に実際の料金だけを比べてのグラフになっております。そういったものを加味して比較検討するということになると、もしかしたら安いとは言えないかもしれません。そういった資料も取り寄せて比較検討しないとちょっとはつきり申し上げられませんが、あくまでこのグラフについては料金をそのままの金額で比較検討したものです。 【委員】 わかりました。 【委員長】 では、続きまして下水道のほうに移りたいと思います。それで	
-----------	--	--

道事業の現状	は下水道事業についてのご説明をお願いいたします。
【事務局】	〔資料に沿って下水道事業の現状について説明〕
【委員長】	下水道事業の現状についてご説明いただきました。委員の皆さま何かご質問やご意見ございましたらご発言をお願いいたします。
【委 員】	水道では話がありましたが、下水道では耐震ということについてあまり出てこなかったのですか、歴史が浅いということで、これから先に更新が必要になってくるとか、そういう意味合いでとらえていけばよろしいでしょうか。
【事務局】	下水道の耐震化につきましては、平・上平地域にあります浄化センターの耐震化をまず優先して実施していきたいと考えています。今年度、耐震の実施設計を行い、来年度には平の黎明浄化センターと、上平の西赤尾浄化センターの施設の耐震化、まずは建築の部分を実施予定です。ある程度施設の耐震が終わりましたら、管渠の耐震化を進めていきたいと考えています。例えば、水道でしたら耐震化率が10%前後というお話があったかと思いますが、下水道の耐震化について厳密な基準といえますか、定義が少し曖昧なところありまして、マンホールと下水道管を繋ぐ接手がどれだけ耐えられるようになっているかを、耐震化ができていると考えるとところがあります。全体の耐震化については今数字をお示しすることはできません。こちらで考えている重要な下水道の幹線については、約88.9%耐震化しています。当初の整備の時点で震動にある程度耐えられる接手を使用しています。ただ、初期の頃に整備したものと、そういったものを有していないので、今後、耐震化を考えていかなければならないと思います。
【委 員】	全く素人みたいな考えですけども、下水道ではマンホール蓋の隙間や下水道管との接続部分から雨水などの流入により不明水の解消が課題であるというお話がありました。逆に下水道から下水が漏出するというのは考えられないのでしょうか。
【事務局】	全く考えられないということはないと思います。今おっしゃられたように接続部分から漏出するものがある一方、流入するものが不明水につながっているところがあります。ただ、そういった数値をお出しするような手法がないものですから、ただ、可能性としては考えられるかなと思います。
【委 員】	わかりました。
【事務局】	水道水でしたら水圧がかかっておりますので、外向きの力が働くので漏水することがありますが、下水道の場合は、自然流下で外への圧がかかって漏出することはあまりないと思われま

すが、ただ、どこかに欠損箇所があってそこから漏出するという
ことは考えられると思われます。入る方は気にしていますが、出
る方、漏れるという点については、早い段階で整備した古い管渠
はコンクリートでできた管渠が多いものですから、特に福光の地
域で、毎年カメラを入れまして、管内の状態を確認する作業を順
次行っております。その中で破損した場所等があれば、その年度
内で修繕するようにしておりますので、出てくる方も入る方も、
そのような箇所については、抑えられるかなとは考えています。

【委 員】 わかりました。

【委 員】 私は県外に住んでおりましたが、南砺市に土地を購入し、田舎
暮らしということで移住したのですが、下水道が完備されている
ことに、ものすごく驚きました。そして、山もあるし、散居村も
あるし、はっきり言ってもものすごく広い範囲に人口が散らばっ
ていますよね。それなのに一流のサービスを受けていますよね。こ
れは本当にはっきり言って贅沢なことだと思います。だからこの
贅沢なことに対して、私たちがどれぐらいの負担をすべきか、と
いうところを話し合わなければいけないと思います。高いサービ
スを、安い料金で済ませたいっていうのは、どうかなっていうの
は私の個人的な考えです。水道というのは、命に関わるもので
し、もし下水道に何かがあったら衛生面でも非常にまずいですし、
病気が広まっても困るわけですので、最優先のインフラだと思
います。ですので、今のその水道料金よりどのくらい多くいただ
いたら、この状況が回っていくのか、また、全部でどれだけのもの
が必要なかわからないので、その辺も知りたいかなと思います。

【事務局】 料金改定をさせていただくにあたって、色々な条件のもとで、
シミュレーションを行います。こういった料金設定でしたら、ど
の程度まで年間に必要な経費を賄えるのかというようなところの
シミュレーションを、今後、資料として提示させていただきまし
て、そのなかでどの料金体系といいますか、料金の水準が適正な
のかというようなところをまたご検討いただきたいと思います。

【委 員】 水道でしたら色々な化学物質の検査をしなくてはいけないと思
いますが、例えばPFASとかありますね。このような検査費用
は、経費に追加されてくる可能性はあるということになりますか。

【事務局】 年間の水道料金収入で、今現在も水道の原水ですとか、処理し
た後の浄水ですとか、これは定期的に検査をしております。PF
ASに関しましても、今年度補正予算を要望いたしまして、国か
らの要請によりまして1度は検査しなさいということで、今年度

	検査するということになります。いただいた水道料金の中で賄うということになります。 【委員】 そうすると、例えば化学物質が出てくれば将来まだ費用が増えるということですね。 【事務局】 新たにそういった形で何か有害なものが、含まれている可能性があるということで、検査をなささいというような要請通知などがあれば、そういった対応をしていかなければならなくなると思います。 【委員】 わかりました。 【委員長】 ご質問が下水道にとどまらず、上水道の方にもなっているかなというふうに思っておりますので、両方まとめて、質問し忘れたわっているのも含めてですね、上下水道も含めてご質問やご意見等あればどうぞ。 【委員】 水道も下水道もですけども、南砺市外との関係、広域水道、流域下水道との今後の取り組み、例えば南砺市だけで検討できない部分は、そういうものがあるかと思いますが、そういうことに対する、今後のその他との折衝といいますか、そういったことについては、どんなふうに今後、こういう料金の話と合わせて進めていかれるのか、ちょっと基本的なところをお聞かせ願いたいと思います。 それともう1つ、今年から、水道の所管が、国交省になりましたので、その何か影響があるのかどうか。そういうことがもしわかったら教えてください。 【事務局】 最初の広域化についてですが、今現在、砺波広域圏水道事業所という砺波市と南砺市で作っている事務組合がありまして、そこからこの平野部に関しては水道を供給していただいているという形で、水を買うことに関しては広域的にはなっています。これに加えて、今現在、西部6市ということで、富山県の西部の6市で検討していこうということが、2年ほど前から始まっています。広域化をどこまでできるかということをまず検討していくということと、また別に、富山県で広域化検討プランができましてそれに対しても西部6市の検討委員会の中で、できることとできないことがやっぱり出てきますので、それについて今、検討しているところでございます。 国交省に移管されたことによって、特に変わったことについては、この前の能登半島地震におきまして、国交省の支援が受けられるということで迅速な支援を受けられるということと、災害復旧に関する補助金に対して、以前の厚生労働省の補助金の補助率
--	---

と、国土交通省の災害の補助率が大きく変わったということで有利な方に進んでいるというところでございます。

【委員】

今、物価高なもので、水道だけでなく電気その他インフラに必要なものが徐々に上がっております。そういう現状で家庭を持つ身としては、上下水道料金が上がるということもとても辛いかなあとは思いますが。人口減少により収益が減少し、施設を補修する必要も出てくると思います。それに対する対策を今考えなくてはいけないということとは思いますが、主婦としてはできるだけ少ない金額で、検討してもらえたらいいというのが本音でございます。

それから、上下水道課の方たちをお願いですが、各家庭でできることをPRする、そういう方向も必要ではないかと思えます。いずれは上げるわけだから、それに対してもっと皆さんにPRしていただくということも少し考えていただけたらありがたいかなと思っております。

【事務局】

そうですね、確かに皆さん物価高とかいろんなことでそれに加えて今こういった上下水道料金を引き上げようというようなことになると、苦しい上にさらに追い打ちがかかるというような意識にならないかなというふうには思います。そういったところでこの検討委員会で色々な意見を出していただいて、どこに落としどころというかどこに改定の水準を持っていくかということも、ご意見を踏まえながら検討していただけたらなという思いです。

それから、各ご家庭においてまずお願いしたいのは、まず家庭内での漏水をなくしていただくことです。よくあるのはメーターを通った後、縁の下などで漏れていたとか、コンクリートの駐車場の下に配管しているところが漏れていたとか、そういったことになると、我々としては、料金の減免制度がありまして、漏水した水に対して、料金としては回収できないということになります。各ご家庭では漏水がないかというところにまた注意をしていただきたいと思います。我々も広報などを通じましてそういったようなところに注意していただくように啓発をさせていただきたいとは思いますが、各家庭においてはまずは、そういった部分での漏水がないか、こまめにメーターなどチェックしていただければと思います。

また、下水道に関しては、トイレに布製のものなどを流されて、それが詰まり、下水道ポンプ異常をきたすことがあります。そういう異物を流すことで異常が発生しますと、業者に現場へ行って

8 その他	対応してもらわねばならず、経費がかかってしまうことになります。そういったことがないようにご協力いただきたいです。 【委員長】 活発なご議論ありがとうございました。続きまして、次第8番、その他へ移ります。事務局からお願いいたします。 【事務局】 [事務連絡について説明]
9 閉会	【委員長】 それでは、本日予定しておりました内容は、皆さまのご協力のもとに滞りなく終了いたしました。最後にふるさと整備部 野村部長からご挨拶をいただきまして、第1回の検討委員会を終了させていただきます。 【部 長】 [閉会挨拶] 長時間にわたり貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。上下水道施設は私たちの生活に欠かすことのできないインフラでございます。また昨今では、激甚的な災害が多発しておりまして、改めて、これらの施設の重要性を痛感しているというところでもございます。健全な上下水道事業の運営を持続可能にしていくためにも、次回以降のこの委員会では、事務局としましても、もう少しわかりやすい資料を準備しますので、委員の皆様には忌憚のないご意見をいただければと思っております。本日はどうもありがとうございました。